

韓国国際交流財団・韓国学専攻大学院生奨学金(2022年度)

Korea Foundation Fellowship for Graduate Studies in Japan

1 事業概要

韓国国際交流財団(Korea Foundation)は、各国の次世代の韓国研究の専門家を養成するため、朝鮮・韓国学を専攻する海外の修士・博士課程在籍者などを対象とした奨学制度を運営しています。

- ・支給額: 修士課程採択者…70万円、博士課程採択者…120万円
- ・受給期間: 2022年4月1日～2023年3月31日
- ・採用予定数: 6名程度

2 申請資格(下記①～③の全ての資格を満たすこと)

- ① 2022年4月1日現在、京都大学大学院の修士・博士課程に在籍する者、または研修員・研究生など博士課程学修退学者として、人文・社会科学分野で朝鮮・韓国学を専門とする者。
- ② 一定水準以上の韓国語能力を持ち、研究および論文作成に際して韓国語資料の活用が可能な者。
- ③ 韓国国籍の留学生は対象外となります。但し、韓国以外の永住権・市民権も保有している韓国国籍者は申請可能です。

* 他奨学金を受給している者は申請できません。

* 協定により、2022年度授業料免除を受ける者は本奨学金を受けることはできません。本奨学金に採用された場合、授業料免除申請を辞退する必要があります。

* 正職員の職を得る者(得ている者)の申請はできません。

* 博士号を取得している者は申請できません。また博士課程学生および博士課程学修退学者が本奨学金を受給できるのは、(修士課程での申請歴を除いて)最大4回までです。

* 奨学金受給期間中、留学などにより長期で海外に滞在し研究活動を行う者は申請できません。また受給期間中に休学することはできません。休学した場合、奨学金の一部または全額の返金を求められます。

3 申請書類

A オンライン申請書(財団ホームページにログインして提出)

※入力済みの申請書ページを大学提出用にプリントアウトすること。

B 研究計画書(財団ホームページにて指定様式をダウンロード)

C 成績証明書(※英文のもの、原本) 修士課程の場合、学部の成績証明書。博士課程の場合、修士課程と学部の成績証明書。ただし、2021年度本奨学金採用者が継続申請を行う場合、修士課程の場合、2021年度の奨学金受給期間の成績証明書、博士課程の場合、博士課程の成績証明書。

D 履歴書 様式は自由。学歴(学位論文の題目および学位取得年度も記すこと)、経歴、奨学金・支援金などの受給経歴(韓国国際交流財団奨学金に限らず記すこと)、研究出版実績(著書、論文など)を必

ず記してください。

E 推薦書(韓国国際交流財団様式)2部(指導教員の推薦書1部、関連分野の教員推薦書1部。2021年度本奨学金採用者は、関連分野の教員推薦書は提出不要)

F 韓国語能力を証明する評価書1部(韓国語能力テスト実施後、本学の韓国語試験担当教員が作成します。2021年度本奨学金採用者は提出不要)

*すべての書類は英語または韓国語で作成してください。

*修士2年次に奨学金を受給した者が博士1年次に申請する場合、新規扱いになります。継続申請扱いにはなりませんのでご注意ください。

*韓国語能力テストは、4月22日(金)18時45分～19時45分を予定しています(※要事前予約)。韓国語能力テストの準備のため、申請を予定している方は必ず4月20日(水)までに京都大学朝鮮・韓国学教育研究ネットワーク事務局(「8 問合せ・書類提出先」参照)までEメールでその旨をお知らせください(テストの日程に出席できない場合も同様にEメールにてご相談ください)。

*財団に提出した申請書類(A～D)は、5月6日(金)17時までに、紙媒体で学生課奨学掛にも提出してください(「E 推薦書」および「F 韓国語能力評価書」については提出不要)。継続申請者についても同様に必要書類提出のこと。

*申請資格や書類作成などに関する質問は、内容次第では事務局でお答えできない場合があります。韓国国際交流財団(helpdesk@kf.or.kr)まで直接お問い合わせいただくと助かります。オンライン申請の不備などのシステム面に関しても事務局では対応できません。こちらも財団まで直接お問い合わせください。

4 申請方法

1. 申請者は Korea Foundation (KF) オンライン申請システム(<https://apply.kf.or.kr>)にサインインし、必要書類の提出を行ってください。
2. オンラインの申請書を提出すると、KF オンライン申請システムで自動的に、申請者が指定した推薦教員に推薦書の作成を依頼する E メールが発送されます。申請者は申請書を提出する前に、教員に推薦書の作成を依頼してください。韓国語能力を証明する評価書1部については、韓国語能力テストの申込の際に指定連絡先をお知らせしますので、あらかじめお問い合わせください。(継続申請者は指導教員からの推薦書1部だけを提出します。KF オンライン申請システムに3人の推薦人を記入する欄がありますが、指導教員のメールアドレス以外の2つの欄には“yrjeong@kf.or.kr”と記入してください。)
3. 本学で韓国語能力テスト(4月22日(金)18時45分～19時45分)を受験してください。
4. 韓国語能力テストの結果、申請資格があると判断された申請者については、KF オンライン申請システムに本学の教員が韓国語能力を証明する評価書を登録します。
5. **5月3日(火)18:00(財団締切・韓国時間)**までに KF オンライン申請システムでの申請を完了してください。
6. **5月6日(金)17時までに、学生課奨学掛に申請書類を提出してください。**

5 公募日程

- | | |
|-----------------------|---|
| 4月4日(月)～ | KF オンライン申請システムでの申請受付開始 |
| 4月20日(水) | 韓国語能力テストの受験申込締切 |
| 4月22日(金)18時45分～19時45分 | 韓国語能力テスト実施 |
| 5月3日(火)18時 | 財団への申請締切(韓国時間。KF オンライン申請システムでの提出を完了させ、「My Project」の表示が「Writing」から「Submitted」になったのを確認すること) |
| 5月6日(金)17時 | 申請者は学生課奨学掛に申請書類を提出 |
| 5月中旬 | 大学での選考及び財団への通知 |
| 6月中旬 | 財団の選考結果発表 |

6 受給者の義務事項

- ・報告書の提出…奨学金受給者は期間終了後1ヶ月以内に個別学業成果に関する報告書を財団が定めた書式に作成して提出します。
- ・成果報告…学位取得後には修士論文または博士論文を財団に提出します。また、奨学金終了後には研究成果及び重要活動の内容、学界への進出現況などを財団に報告します。

7 Korea Foundation (KF) オンライン申請システム、申請資格などの問合せ先

E-Mail: helpdesk@kf.or.kr TEL: +82-2-2151-6535

8 問合せ・書類提出先

京都大学朝鮮・韓国学教育研究ネットワーク事務局(文学研究科・吉井秀夫研究室気付)

E-Mail: 840scholarship@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

学生課奨学掛(書類提出先)

E-Mail: 840scholarship@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp TEL: 075-753-2535

